

## 「ウィキペディア」で天文の記事を書いています

ウィキペディアン Kovayashi

### 1. はじまりはクイズから

それは2012年、クイズイベントでの出来事でした。

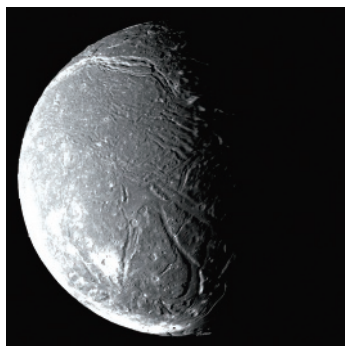
「シェークスピアの戯曲『テンペスト』に登場する精霊の名前から名付けられた天王星の第1衛星の名前は何でしょう？」

いやいやちょっと待ってくださいよ。天王星の第1衛星「アリエル」は、アレクサンダー・ポープの戯曲『髪盗人』が元になっているはず……

「正解はアリエルです」

えー？ いったいどうしてそんなことに？ と思って確認してみると「ウィキペディアにそう書いてあった」とのこと。なるほど、ウィキペディアの記事を読んでみると、確かにそう書いてあります(図1)。

ううむ、これは何とかせねば……。



天王星の全ての衛星は、ウィリアム・シェイクスピアもしくはアレクサンダー・ポープの作品にちなんで名づけられる。アリエルはシェイクスピアの戯曲「テンペスト」に登場する空気の精霊の名にちなんで付けられた。

図1. アリエルとウィキペディアの記事

いきなりクイズの話で失礼しました。私、ウィキペディア日本語版で、主に天文学や天文学史、宇宙開発についての記事を執筆・編集している「Kovayashi」と申します。実は私、趣味で「クイズ」を30年以上たしなんでいまして、まだ児玉清さんが司会をされていた頃に朝日放送の『パネルクイズ アタック25』で優勝して、パリ・カンヌ旅行を獲得したこともあります。仲間内でも、サークルやクイズ大会に参加しているのですが、冒頭のようにウィキペディアに掲載された誤った情報を元にした問題のせいで痛い目に遭う経験がたびたびありました。聞けば、ウィキペディアの記事は誰でも編集ができるとのこと。「よし！ 自分で何とかしよう！」と決心したことが編集活動を始める直接のきっかけとなりました。

### 2. 「ウィキペディア」とは？

オンライン百科事典「ウィキペディア」が世に誕生してから今年(2021年)1月でちょうど20年になりました。皆さんも天文や宇宙に関する言葉をWEBで検索して、ウィキペディアの記事に当たったことがあるでしょう。もうすっかり身近な存在となった感の

あるこのウィキペディアですが、そもそも「ウィキペディアとは何者なのか？」ということとはあまりよく知られていません。

ウィキペディアは、「ウィキメディア財団」という非営利組織によって運営されている多言語のオンライン百科事典です。ウィキメディア財団の定義によると、ウィキペディアは「信頼されるフリーなオンライン百科事典、それも質・量ともに史上最大の百科事典を、共同作業で創り上げることを目的とするプロジェクト、およびその成果である百科事典本体」とされています。2020年現在290以上の言語版のウィキペディアが存在しており、日本語版には120万以上の記事が立項されています。これは記事数で13位、A-Zのいわゆるラテン文字を使わない言語としてはロシア語版に次いで2位の規模です。

この巨大なオンライン百科事典を動かすためサーバー運用だけでも莫大な費用が掛かっていますが、プロジェクトの独立性を確保するため、運用に掛かる費用はほぼ全て寄付と助成金で賄われています。アフィリエイト広告などが無い代わりに、「寄付金のお願い」が何度も表示されてイラ立たせることもあるかと思いますが、その辺りは何とぞご理解ご容赦ください。

### 3. ウィキペディアの天文・宇宙関連の記事について

日本語版ウィキペディアには「天文学に関する記事」というカテゴリがあり、2020年末で8,600件以上の記事が登録されています。これらの記事に対して、昨年(2020年)一年間で約4500万件、平均で一日あたり約12万件のページビュー(閲覧数)がありました。その中でもページビューの多かった上位20件のリストを上げてみましょう。(表1)

やはり人気の高いのが「アルベルト・アインシュタイン」。人物では「スティーヴン・ホーキング」も変わらず人気です。天体では、超新星爆発を起こすのではないかと話題となった「ベテルギウス」がよく読まれました。2位にランクインした「コロナ」ですが、これは皆さんお察しの通り、「COVID-19」について検索した人が誤ってアクセスしたため、2019年に比べて11倍以上閲覧されていました。せっかくページビュー

順位	記事名	閲覧数
1位	アルベルト・アインシュタイン	710,160
2位	コロナ	524,959
3位	月	512,261
4位	ベテルギウス	460,353
5位	ブラックホール	440,331
6位	太陽	419,763
7位	太陽系	408,595
8位	地球	399,092
9位	スティーヴン・ホーキング	365,743
10位	金星	362,449
11位	木星	350,852
12位	ガリレオ・ガリレイ	344,277
13位	オリオン座	341,207
14位	火星	339,868
15位	冥王星	330,189
16位	宇宙	300,113
17位	アイザック・ニュートン	296,144
18位	アリストテレス	294,650
19位	二十四節気	285,574
20位	冬の三角形	278,306

表1. ウィキペディア天文学に関する人気記事(2020年)

が増えているのに記事の内容が古くまた貧弱なままではもったいないので、在宅勤務の空き時間を使って全面改稿したところ、6月の月間強化記事賞に選定されました。

かつて日本語版のウィキペディアでは、恒星の固有名や星座の由来に誤りが多数ありましたが、現在ではほぼ最新の内容にアップデートされています。恒星の固有名や海外の研究者、宇宙機の名前などは、ほとんどの場合定められたカタカナ表記がなく、「ケレス」なのか「セレス」なのか、「パーサヴィアランス」なのか「パーセベランス」なのかなどなど、議論のタネに事欠きません。私どものルールでは、ウィキペディアのせいで誤ったカタカナ表記が一人歩きすることがないように、国立天文台やJAXAといった研究機関や専門誌が使う表記を使うようにしています。

今後は、野尻抱影さんの『日本星名辞典』や北尾浩一さんの『日本の星名事典』など貴重な文献を使って、日本独自の星の文化を各記事にもっと反映させていきたいですね。

#### 4. ウィキペディアを支える「ウィキペディアン」たち

ウィキペディアの記事自体は、匿名のボランティアたちの手によって無償で執筆・編集・維持管理されています。日本語版だけでも120万を超える膨大な記事が、全て無償の奉仕で作られているのは驚きですね。これらの記事を執筆・編集する人々を総称して「ウィキペディアン」と呼びます。私もそんなウィキペディアンの一人です。

冒頭で私の例をご紹介しましたが、ウィキペディアンが記事の編集に携わる動機は人それぞれ色合いが異なります。専門分野や社会思想の普及のために活動している人、自身の知見を高める研鑽の場として編集に携わる人、誤った情報が広まるのを正すために啓蒙活動に取り組む人など、各々にユニークな背景や動機があるようです。

ウィキペディアンは記事を執筆するだけではなく、記事の品質維持にも力を割いています。たとえば私の場合、朝と夕方の2回、天文学関連の記事の更新状況をチェックしています。いたずらや悪意の編集があれば編集を差し戻し、善意の間違いや出典の不備があれば注意を促したりしています。よく閲覧されている人気の高い記事ほど「荒らし」に遭う機会が多くなりますが、あまり人気のない記事がこっそり改竄されることもあるため、なかなか気が抜けません。

ウィキペディアン同士の編集や主張が競合し、論争となった場合はウィキペディアン間の互選で選出された「管理者」が調整に入り、話し合いでの解決を図ります。投票を行うこともあります。これも単なる多数決ではなく、議論を尽くして解決を図ろうとするのがウィキペディアの特徴的なところですよ。

天文関連の記事を書いているウィキペディアンはどんな人たちでしょう？ 現在ア

クティブに天文関連の記事を執筆しているのは10数名程度で、彼らのプロフィールによると年齢層は10代から上は50代以上までと結構幅が広いようです。彼らは大学や研究機関の研究者？それとも科学ジャーナリスト？私も彼らとはWEB上のやり取りのみで、直接会って話をしたこともありませんので、プロフィールに書いてあること以上のことはわかりません。編集内容を見る限り、私のような好事家がほとんどで、研究者や学芸員、サイエンスライターといった専門家の方はほとんど編集に携わっていないようです。かく言う私も事務系会社人で、理学・工学系の教育や研究とは縁もゆかりもありません。

こう書いてしまうと「素人が書く記事の信頼性ってどうなの？」と思われるかも知れませんが。世の中には「ウィキペディアの記事には誤りが多い」「信憑性が低い」と文句を言う人もいらっしゃいます。

ごもつともです！質の悪い記事はまだ多く残っています。それでも、記事の質を高めて信頼性を保つために、ウィキペディア独自のルールで歯止めを掛けています。

## 5. 三つの編集方針と「信頼できる情報源」

ウィキペディアには、記事の信頼性を保つために

「中立的な観点」

「検証可能性」

「独自研究は載せない」

という三つの編集方針があります(図2)。

これらの方針に共通している重要な点は、

**「信頼できる情報源」に基づいて記事を書くこと**です。

「信頼できる情報源」とは、書籍や専門誌等の刊行物やWEBサイトなど、有償無償を問わず誰もが見たり読んだりすることができるものが対象となります。そして、記事を書く際には、これらの参考文献を出典として明示することが求められます。言い換えると、ウィキペディアンには「自分が知っていること」と

「文献を提示して記事に書けること」との違いをわきまえて執筆することが求められます。つまり「自分だけが知っている世に知られぬ事実」は書けないということです。

たとえば、私の友人にウィキペディアの記事にもなっているスポーツジャーナリストがいます。その彼が「地中海のタコは美味いんだぞ。オレはそのタコを使ってタコ焼き屋をやって生活する！」と言って欧州に移住した逸話はぜひとも彼の記事に書き加えたいと思っているのですが、残念ながらこの話はどの文献にも書かれていません。ウィキペディアでは「俺は間違いなく本人から聞いた」は通用しませんので、加筆を断念しています。(書きたいなあ……がまんがまん)

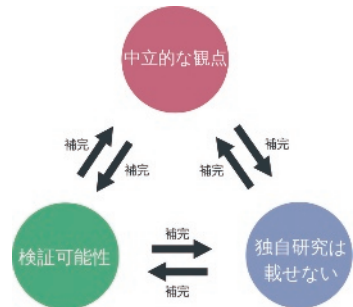


図2. 日本語版ウィキペディアの編集ポリシー

特に天文学関連の記事では、この数年「検証可能性」や「独自研究を載せない」などの方針を厳しく運用してきました。その甲斐もあってか、最近立項された記事の多くに天文学の専門書や海外の論文、天文データベースなど、信頼できる情報源が出典として明示されるようになりました。日本語の文献では、日本天文学会のウェブサイト『天文学辞典』を重宝しています(図3)。



天文・宇宙に関する用語 3000 項目を  
わかりやすく解説。登録不要・無料。

図3. 天文学辞典

## 6. ウィキペディアとの上手な付き合い方

最近では大学のレポート課題などで「ウィキペディアからの引用は避けるように」と指導が入るそうです。ウィキペディアの記事は、何かを調べるときの取っ掛かりや入り口となるものであって、研究や学業の根拠となるべきものではありませんので、適当な指導だと思います。

ウィキペディアの記事本文は、全体像を掴むために目を通すに留めて、出典として挙げられた文献を読んで理解を深めることをおすすめします。我々ウィキペディアンもよい「ポータル」であることを目指して記事を執筆しております。記事には必ず有意な出典を付けるように心掛けていますので、ぜひ目を通してみてください。記事を読んで「怪しいな」と思われたときは、まず出典を確認しましょう。ろくに目も付いていないような記事はハズレですので、そこを入り口にははいけません。

また、「クリティカル・シンキング(批判的思考法)」の訓練にも、ウィキペディアは良い題材となります。大学教員の中には、内容に問題のある記事を読ませて、どこに問題があるかを考えさせる課題を出す人もいます。課題で記事編集までされるとちょっと困るのですが、レポート課題としては面白い題材と思います。読んだものを鵜呑みにせず、批判的に考察する訓練にぜひご活用ください。

## 7. おわりに

最後に、私が最近加筆・立項した記事も自薦でご紹介しておきましょう。

まず「**ウォルフ・ライエ星**」。これは昨年3月頃に記事が荒らされた際に、自分の勉強のために英語版を翻訳しつつ、日本語の関連文献を読みあさって大幅に改稿したもので、ウィキペディア全体の0.1%しかない「良質な記事」に選んでいただきました。日本語で詳しく書かれた文献が少ないため、研究者の方にもご意見いただきたいところです。

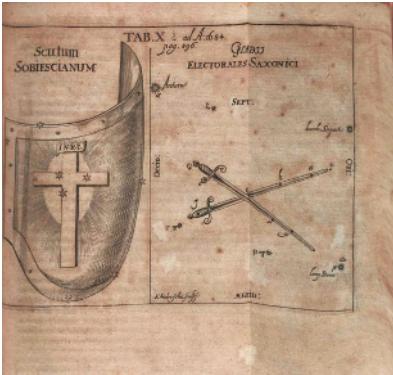


図4. ザクセン選帝侯の双剣座

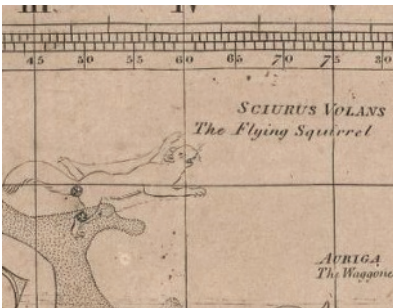


図5. モモンガ座

日本の電波天文学の歴史のマイルストーンと言える電波望遠鏡の紹介記事です。いずれも、ウィキペディアの該当記事をぜひご一読ください。

星座では「**ザクセン選帝侯の双剣座**」(図4)。これはドイツの天文学者ゴットフリート・キルヒが考案した、現在は使われていない星座です。彼の patron だったザクセン選帝侯を称えて作った星座ですが、あまりに追従がひどかったためか、後の誰からも採り上げられませんでした。なお、同じ見開きで星座絵が紹介されているヘヴェリウスの「ソビエスキのたて座」は、現在も「たて座」として健在です。

もう一つ、使われていない星座で「**モモンガ座**」(図5)。こちらは19世紀にアメリカのクロスウェルという人が考案した星座で、なかなか愛嬌のある笑顔で空を飛ぼうとしている姿が印象的です。

最後に、先年日本天文遺産に選定された「**6mミリ波電波望遠鏡**」(図6)。現在は三鷹市の国立天文台に保存・展示されている、



図6. 6mミリ波電波望遠鏡  
松本直記氏撮影

## 著者紹介 Kovayashi



天文宇宙検定と星空宇宙天文検定のダブル1級が自慢の天文好事家。ウィキペディアで天文・宇宙関連記事の編集に携わって8年、最近では日本天文教育普及研究会の会員として、ウィキペディアを通じた天文普及に鋭意取組中。